

会 議 録

会議の名称	西東京市図書館協議会 平成29年度第1回臨時会
開催日時	平成29年 9月7日(木) 午後3時から5時まで
開催場所	田無公民館3階会議室
出席者	委員：小西会長、鈴木副会長 西村委員、山口委員、増田委員、山村委員、藤澤委員(欠席) 山辺委員、清水委員、東山委員 事務局：中川館長、司城副館長、奈良庶務係長
傍聴者	なし
議 題	1 諸報告 2 平成28年度西東京市図書館事業評価について 3 図書館の運営体制のあり方の検討について 3 その他
会議資料の名称	西東京市図書館協議会平成29年度第2回定例会会議録(案) 資料1 平成28年度図書館事業評価表まとめ(案) 資料2 図書館運営体制のあり方の検討について(検討資料①) 資料3 西東京市市民意識調査報告書 資料4 平成25年度西東京市図書館利用者アンケート調査報告書
記録方法	<input type="checkbox"/> 全文記録 <input checked="" type="checkbox"/> 発言者の発言内容ごとの要点記録 <input type="checkbox"/> 会議内容の要点記録
会 議 内 容	
(会議録確認)	
○会長 図書館協議会を始めます。	
<u>1 諸報告</u>	
○館長 ・新座市との話し合いについて。8月12日に実施。負担金について、貸出条件の違いについて。 ・教育計画のアンケートについて。 ・9月議会報告。 市民会館、中央図書館・田無公民館の今後のあり方、図書館の全体的なあり方について等。中央図書館・田無公民館の施設については、耐震改修促進計画を踏まえて既存施設の有効活用の視点を持ちながら検討を進めております。中長期的な図書館計画については30年度に策定懇談会を設置し検討していきます。	
○会長 協議会では、今年度中に運営体制のあり方について報告書を提出することと、来年度に図書館の中長期計画について懇談会の協議を踏まえ意見を述べ	

ていくこととなります。

- 委員 懇談会の構成はどのようなメンバーになりますか。また、教育委員会には報告するのですか。
- 館長 図書館協議会委員や市民公募等の委員で構成されます。報告いたします。
- 会長 アンケート内容は。
- 館長 小学生や中学生、市民等を対象としたものです。
- 副会長 施設についての検討では、3館合築の懇談会の意見も反映されていくと考えればいいですか。
- 館長 そうです。
- 会長 新座市との相互貸借については、本来は金銭で解決すべきことではないと思います。様々な事情はあるにせよ、個人としては貸出条件の歩み寄りをし、図書館利用に困っている人がいるならば譲歩してサービスしていただきたいと思います。

2 平成28年度図書館事業評価について

- 会長 図書館事業評価について、前回までの意見を加えてまとめたものが資料1になります。
(事務局資料①説明)
図書館からは個別の図書館事業について評価を求められているが、協議会としては総合的評価としてこの1年の図書館事業全体を評価して市民に説明することが必要と思います。
- 委員 ホームページの中身ですが、特にゆかりの人の記事が更新されていることやその著作が収集されていること、新聞記事の掲載などについて水準が高いと思いました。評価については長期的な目標も大事ですが、年度ごとの具体的な目標が示されれば評価しやすい。
- 副会長 評価の内容はよろしいと思いますが、多文化についてハンディキャップの部門で評価するのは疑問があります。母語の違いだけでなく、日本の子どももよその国の文化を知ることが大事で、多言語おはなし会がこの先、中央図書館だけでなく、色々な場所で続けられることを希望します。
- 会長 図書館を利用するのに困難な人たちとしてハンディキャップサービスとしていますが、多文化に関してこのまとめ方で公表する時はこの形で出ますか。
- 館長 図書館側の事情で、日本語ばかりの資料を収集していることで、言語の違う人が図書館利用をしにくいという意味で、多文化サービスをハンディキャップサービスに含む考え方です。以前の委員から依頼があり、他自治体を調査しましたが、図書館によっては「図書館利用に支障がある方へのサービス」としている自治体もあります。
- 委員 私も多文化サービスがハンディキャップサービスに入っているのは違和感があります。一般市民としてはとらえ方が難しいので、別にしたほうがわかりやすいのでよろしいかと思います。
- 委員 一般の人はハンディキャップサービスの感じ方が館長の仰るような理解ではないかと思います。新たに多文化サービスを別項目にしたほうが理解しやすい。

- 会長 皆さんの意見としては、障害がある方へのサービスと多文化サービスとを分けたほうがかなりスッキリしてわかりやすい。今回分けないというのであれば、図書館利用に支障がある方へのサービスとした方が良いでしょう。
- 委員 宅配サービスですが、28年度は要領を作成し、29年度に宅配サービスを実施したのか不明だったので、機能しているのか現状を教えてください。
- 館長 要領は出来ています。現在は宅配ボランティアを募集しているところで、今後研修を行い、年度内に実施することで進めています。
- 会長 これは5年間で準備し進めていく計画で、素案は出来たので、実施に向けた取り組みを今進めて、実際に動き出すところまで来たということです。デイジーの取り組みは他の自治体と比べて西東京市は進んでいますので、評価は高くてもよいと思います。そもそも宅配サービスは、利用者のプライバシーへの高い意識を持って行う必要のあるサービスですので、ボランティアではなく、図書館職員が行うべきことではないかと思います。
- 館長 サービスを実施している調布市や八王子市では、ボランティアを育成し軌道に乗っています。宅配サービスの開始にあたってとった利用者アンケートでは、プライバシーについての不安があるとの回答があります。先進的なサービスを実施している自治体では研修を非常に綿密にやっていますし、ボランティアの方には宣誓書のようなものを書いてもらうとか、守秘義務について徹底した研修を継続的に行っていると聞いていますので、見習うべきと考えています。
- 委員 宅配サービスはプライバシーを扱うのに、ボランティアがやるのは不安に思います。それだけの志が高い方がどれだけ集まるのか、どうやって人を集めていくのか、守秘義務があり、なおかつボランティアをしたい方はどれだけいるか疑問です。
- 副会長 リタイアした元気な人で世の中に貢献したい方はいっぱいいます。しかし、録音図書を作成しているボランティアでも、継続して続けていくことは大変という声は聞いています。
- 館長 人の管理なので大変だと思います。
- 委員 宅配はどのような形で実施するのですか。
- 館長 希望された資料を袋づめしてそれをボランティアに届けてもらい、同じ形で回収してもらいます。
- 会長 宅配ボランティアに対して厳しい条件を付けてやっていくのはわかりましたが、図書館員が従来やって来たことなので、本来、図書館員がやるべきということを行政に主張していくことが必要だと思います。
- 館長 高齢化が進むことで図書館に来館できない人へのサービスが増えていくと思いますので、職員だけでは難しいところです。
- 委員 ボランティアの協力を得ることで図書館が開かれていくことになるという考えがあるのではないかと。
- 会長 個人のプライバシーに関わりがあり、特に難しい案件なので大変です。
- 委員 保護司のような特別な名称を与えることとかできないですか。
- 会長 保護司は国の制度なのでまた違うと思います。
- 副会長 募集してきたボランティアがはじかれるような研修だと本人には厳しいようだが、ボランティアの誠意による事業なので、図書館側で何を望むのか、

図書館が何を委託するのか、はっきりしていないと難しいと思います。継続して何度も研修をしていく、図書館職員が必ず関わり、言い続ける場が必要だと思います。やっている方の励みになるような仕向けが必要ですし、無償であるなら、余計にこのことは必要なことだと思っていただきたい。

○会長 以上の議論を踏まえ、図書館でまとめてください。

3 図書館の運営体制の見直しについて

○館長 前回お示した資料に補足したものを資料2としてご説明します。

(資料2の説明)

○委員 指定管理者について教えてください。

○会長 館長から西東京市図書館のこれまでの取組について説明がありました。行財政改革の取組みとして効率化や経費を抑えるという大きな目標と、もうひとつは、民営化の流れがあります。人件費の圧縮が図られる、市の職員では対応しきれなかった開館日の拡大や時間の延長に対応できるといったことです。現在は全国に3,200館ある図書館のうち、10%ほどが指定管理者制度を導入しています。良く似た制度にはPFI方式があり、民間が建物を建て、人を出す、行政に20年から30年で返すというリースのような仕組みです。

○副会長 市民としてどのような運営をしていただきたいか、このようにしてほしいという考えを出すものだと思いますが、本日のように説明が続くとどのように進めていくのかよくわかりません。他の自治体の様子がわかる資料があるとよいと思います。

○会長 協議会では、皆さんがどういう図書館が欲しいのか、こういう図書館像があるから、こういう図書館にしてほしいということを書いていかなければならないと思います。直営でない方式を含め、私たちが望む図書館に対応するための体制は、どのような利用の仕方が望ましいかを考えていかなければならないと思います。

○委員 他の自治体の利用者アンケートなどがあれば具体的な様子がわかると思います。

○会長 10年前の図書館協議会の提言を読んできていただき、10年後を見据えた提言の書き換えバージョンと考えていただいてはどうでしょうか。ご質問など図書館に寄せていただき進めていきたいと思います。本日はこれで閉会させていただきます。

次回は11月16日（木）午後2時から